



2 エッセイ／“おかね”を語る
お金にまつわるエトセトラ 作家・医師 海堂 尊



4 インタビュー／扉を開く
御手洗瑞子 株式会社気仙沼ニットイング代表取締役社長
 気仙沼の編み物会社で紡ぐ信頼と復興の力



9 特別記事—— 宮城県気仙沼市
 「志民」がつくる「海と生きる」街 気仙沼

14 対談／守・破・創
笠 章子 大塚ホールディングス株式会社 常務執行役員 総務部人材企画室長
政井貴子 日本銀行政策委員会 審議委員
 企業で女性が活躍するために女の意思と男の覚悟が必要だ



18 日本銀行のレポートから①
「地域経済報告」(さくらレポート) —2017年7月—
 別冊「各地域における女性の活躍推進に向けた企業等の取り組み」—2017年6月—



25 地域の底力—— 青森県弘前市
青森県弘前市の人を育むまちづくり

32 貨幣の世界——⑤ [形 その4]
現代の貨幣—国もいろいろ形もいろいろ—(2)

34 FOCUS → BOJ ⑫ 日本銀行調査統計局「物価統計課」の仕事
 調査協力企業と信頼関係を築き
「企業物価指数」の精度を高める

38 日本銀行のレポートから②
「経済・物価情勢の展望」(展望レポート) —2017年7月—



40 トピックス
秋田支店が開設 100 周年記念パネル展を開催ほか

43 AIR MAIL from Frankfurt
イノベーションの今昔

表紙の現店舗は、昭和三十五年(一九六〇)六月に新築移転された二代目となります。初代店舗は老朽化に加え、事務量の増加から手狭となったため、旧県立図書館跡である新潟市寄居町に移転しました。新潟支店はこれからも、米どころ新潟で地元経済を支え続けていきます。

表紙のことは

日本銀行新潟支店は大正三年(一九一四)七月一日、日本銀行の第一〇番目の支店として、現在の新潟市中央区上大川前通に開設されました。当時は、米穀価格の高騰や米の売り惜しみ、金融の逼迫等により、後の「米騒動」へと波及しそうな情勢でした。こうしたなか、米価安定を金融面からサポートするため、米の主要産地である新潟に支店が開設されました。開設後は手形割引を実施し、米穀金融円滑化の道を開きました。また、それまでは地元銀行の職員が東京まで汽車で一九時間かけて現金輸送を行っていましたが、同支店の開設により短縮化されたことから、新潟経済に大きく貢献しました。



表紙・画 北村公司